

ひだかしんきん 地区内経済概況



***** 目 次 *****

業種別総括 平成31年 1月

概 況	1
漁業・水産加工業	2
農業・軽種馬生産業	3
建設業	3
木材・製材業	4
卸・小売業・観光	4
倒産・雇用状況	5
その他	5
指 標	6~7
トピック	8
インフォメーション	9

《業種別総括》

概況

平成31年1月

〔漁業〕

- 1月の総水揚げは、漁獲量・漁獲金額ともに前年を下回った。各地区スケソウ漁が主体の時期だが、1月に入り水揚げは大幅に減少している。漁獲量では、底曳き網、スケソウ、カレイ、タコ漁が前年比減少、昆布が増加した。漁獲金額では、底曳き網、カレイ、スケソウ漁が前年比減少、昆布が増加している。スケソウ漁は、悪天候で出漁回数が少なかったことも影響している。

〔農業・軽種馬生産業〕

- 競走馬商社のジェイエス(静内本町)主催の「2019冬季繁殖馬セール」が開かれ、36頭が上場し、26頭を売却した。売却総額は7,922万円(前年比6,827万円減)だった。国内唯一の繁殖牝馬の競り市で年2回開催している。売却率は72.22%。最高売却額は2,268万円だった。

〔建設〕

- 町発注工事(新ひだか〜広尾地区)の月中発注額は3,500万円で、前年を2,800万円上回った。
- 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証(株)の保証請負金額)は5億1,500万円で前年を3億2,500万円上回った。
- 月中建築確認申請件数(新ひだか〜広尾地区)は、4件で、前年を2件上回った。

〔卸・小売業・飲食業〕

- 新ひだか町は、町内で生産される優れた産品を推奨品として認証し、全国に広く発信する「2019新ひだか推奨品」の認証審査を開催した。町内3事業者から北海道産豚肉や鶏肉を使った加工品、道産小麦と日高山脈から流れる水を使った生ラーメン、町内産の日高コンブや白樺の樹液を使った石けん、化粧水など9商品の申請があった。
- 新ひだか町地酒づくり協議会は、募集していた静内産酒米を使った地酒の名称を「海桜丸(かいおうまる)」に決めた。「広大な太平洋と大地の桜を組み合わせ、出航する船」をイメージしている。

〔観光・その他〕

- 道内の初日の出の観光スポットとして人気の襟裳岬は3年ぶりに日の出が拝め、「平成最後」の初日の出に約1,000人が参拝した。
- 魅力再発見!「北海道ふっこう割対象」ツアーが26、27の両日、えりも町大西町長がガイド役になり、えりも・広尾両町で行われ、札幌方面を主体に20人が来町した。
- 今年で110年目の節目を迎えた浦河町の新春恒例行事「騎馬参拝」が2日、西舎神社で行われた。歴史ある行事をひと目見ようと、約200人の参拝客や関係者が初詣を兼ねて訪れた。

〔雇用〕

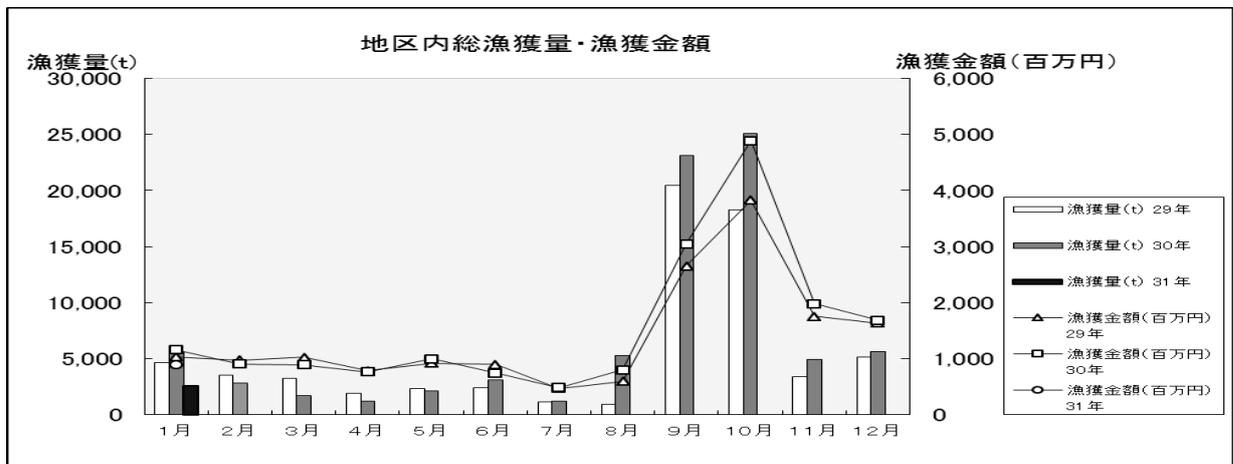
- 浦河地区と全道の月間有効求人倍率は、浦河地区、全道ともに前年を上回った。

〔総括〕

- 建設業の月中請負金額(北海道建設業信用保証(株)の保証金額)、は前年を3億2,500万円上回り、町発注工事も前年を2,800万円上回っている。前月比では、国、道発注工事は減少し、町発注工事は増加している。漁業は、漁獲量、漁獲金額ともに前年を大きく下回った。タラ・スケソウ漁が前年比大幅に減少している。シケ続きで出漁回数が減ったことが要因。小売業、飲食業は、正月商戦で、新年会や宴会オードブル等の注文で忙しさが増したが、日中の来店客は少なく低迷している。個人消費は、正月や帰省等でやや上向いたが、漁業の主力「スケソウ漁」が不振となっており、燃料価格は、ガソリンが1年ぶりの安値水準となるも、地区内のガソリン・灯油の価格は依然高く、消費者心理も消極的などが窺え、地区内景況は横這の状況が続いている。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 カレイ、タコ、ツブ、ホッキ、カニ漁等。〔沖合い漁業〕 タラ・スケソウ、底曳き網漁等。
 総漁獲量 2,602^ト・金額 9億8,900万円(前年同月比2,990^ト減・2億8,600万円減)



タコ漁	149 t	79 百万円	(前年同月比 10 t 減	9 百万円減)
カレイ漁	47 t	42 百万円	(前年同月比 91 t 減	36 百万円減)
ツブ漁	93 t	69 百万円	(前年同月比 増減なし	2 百万円減)
底曳き網漁	795 t	82 百万円	(前年同月比 197 t 減	24 百万円減)
ホッキ漁	20 t	7 百万円	(前年同月比 1 t 減	5 百万円減)
昆布	227 t	343 百万円	(前年同月比 17 t 増	31 百万円増)
タラ・スケソウ漁	1,166 t	141 百万円	(前年同月比 1,495 t 減	232 百万円減)
ナマコ漁	2 t	9 百万円	(前年同月比 2 t 増	9 百万円増)
ウニ漁	5 t	10 百万円	(前年同月比 3 t 増	7 百万円増)
毛ガニ漁	19 t	93 百万円	(前年同月比 9 t 減	2 百万円減)
その他	79 t	114 百万円	(前年同月比 1,209 t 減	23 百万円減)

- 1月の総水揚げは、漁獲量で前年を2,990^ト下回り、漁獲金額は2億8,600万円下回った。漁獲量では、底曳き網、カレイ、タコ、タラ・スケソウ漁が減少し、昆布(出荷量)が増加した。漁獲金額は、底曳き網、カレイ、タコ、タラ・スケソウ漁が減少し、昆布が増加している。
- ひだか管内のスケソウ漁が伸び悩んでいる。11、12月は好漁だったが、年明け以降はシケも絡んで薄漁に転じている。浜値もハシリは高値が付いていたが、1月に入り放卵や卵質低下に伴い弱含みで推移している。日高管内は、えりも漁協が前年同期比26.9%減の2,079^ト (21日現在)、日高中央漁協は同39.1%減の881^ト (16日現在)、ひだか漁協は同48.4%減の94^ト (24日現在)となっている。えりもと日高中央漁協は1月に入りシケ続きで出漁回数が前年より減っていることが影響している。

1月の新ひだか～広尾町のスケソウの水揚げは、1,166^ト (前年同月2,661^ト) で、前年比1,495^ト減少している。えりも地区は、水揚げ713^トで、前年比859^ト減少、様似地区は、208^トで、同485^ト減少、浦河地区は、78^トで同162^ト減少し、不振が続いている。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- ・ J R Aの新年幕開けとなる名物レースの中山金杯と京都金杯が5日、中山、京都両競馬場で行われた。中山金杯(GⅢ)は新冠町・コスモヴェーフาร์ม生産のウインブライト、京都金杯(GⅢ)は新ひだか町静内・千代田牧場生産のバスクアメリカーナが優勝と、管内生産馬が制し、上々のスタートを切った。馬券を委託販売するAiba静内では約1,200万円を発売。浦河では約470万円、門別競馬場では約900万円を発売した。
- ・ 日高軽種馬農協主催の競り市「北海道市場」は、5月21日に札幌競馬場で開催する2歳馬のトレーニングセールから、10月15、16日に新ひだか町静内の北海道市場で開く1歳馬のオータムセールまで10日間開催する。トレーニングセール＝5月21日。セレクションセール＝7月16日。サマーセール＝8月19日～22日。新設・セプテンバーセール＝9月17、18日。オータムセール＝10月15、16日。

〔農業〕

- ・ 日高振興局のまとめによると、日高管内主要農畜産物の農協取扱の年間出荷・販売見込額は、前年比1.7%減の139億3,500万円(軽種馬、水稲を除く)となった。大雪によるハウス被害、夏前の長雨や日照不足の影響で、ハウスで栽培する施設作物に影響があり、多くで減産となった反面、施設栽培作物は高値傾向が続いた。作物別の出荷・販売予想額は5ページに掲載。
- ・ ホクレン南北海道家畜市場(安平)で黒毛和種など肉牛の「初競り」が行われた。落札平均価格は前年の初競りとはほぼ同じだった。胆振、日高、渡島管内などの生産牧場が生後1年未満の黒毛素牛(子牛)を中心に前年比11頭増の1,093頭を上場。黒毛和種の平均価格は雄が前年比0.09%高の85万3,017円、雌は同2.0%高の75万6,632円だった。同市場の昨年の取り扱い頭数は23,000頭で前年より400頭減少した。生産者の高齢化に伴い、減少傾向にある。

〔花き栽培〕

- ・ 1月の花き出荷実績は、5万1千本、金額915万円(前年6万4千本、795万円)。

建設業

〔公共工事〕

- ・ 日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)は、5億1,500万円で、前年同月比3億2,500万円増加した。

〔町発注工事・建築確認申請〕 (平成31年1月)

	工 事 件 数				金 額 (百万円)				確認申請件数
	土 木	建 築	その他	計	土 木	建 築	その他	計	
新ひだか町	1	1	2	4	4	4	26	34	2
浦 河 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
様 似 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
えりも町	1	0	0	1	1	0	0	1	0
広 尾 町	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	2	1	2	5	5	4	26	35	4

- ・ 町発注工事(新ひだか～広尾地区)は5件、3,500万円となった(前年同月3件、700万円)。工事発注状況を見ると、前年同月比では、件数は2件上回り、金額は2,800万円上回った。
- ・ 月中受付の建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は4件で、前年を2件上回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・チップ材の出荷状況(広尾地区)は、数量が295ト(前年976ト)で前年比69.7%の減少。出荷金額は503万円(同1,723万円)で前年比70.8%減少。

〔製 材〕

- ・建材、プレカット材等は建築業者からの注文で前年並みで推移している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・本州産の野菜、果物が主体の取り扱いとなっている。冬野菜は道外の産地が好天に恵まれ、前倒しで生産・出荷が進み、価格は平年の2~3割安くなっている。

〔小売業・飲食業〕

- ・新ひだか町地酒づくり協議会は、募集していた静内産酒米を使った地酒の名称を「海桜丸(かいおうまる)」に決定した。静内産米は、地域住民に親しまれている「万馬券(ななつぼし)」や平成29年の「日胆地区新米ゆめぴりかコンテスト」で金賞を受賞するなど、年々評価が向上。新たな特産品づくりとして、同協議会を設立し、酒造好適米「彗星」を1.26ト収穫し、醸造を新十津川町の老舗酒造会社・金摘酒造に委託。3月から約2,000本(純米吟醸、1本720ml)を出荷する予定。
- ・えりも町の株式会社マルデン(札幌支店)は、外食業態で人気の「バル」スタイルを家庭の食卓で楽しめるコンセプトの商品シリーズを打ち出す。野菜を組み合わせた惣菜品も初投入する。食べ切り、即食などの手軽さを兼ね備え、魚食の新たな需要層をつかんでいく。

〔観光・その他〕

- ・魅力再発見!「北海道ふっこう割対象」ツアーがえりも、広尾両町で行われ、札幌方面を主体に20人が来町した。シイビーツアーズが企画・実施し、えりも・広尾両町が協力。えりも町大西正紀町長がガイド役でバスに同乗し、町内の基幹産業である漁業生産と観光行事、脚光を浴びているハートレイク「豊似湖」の遊覧飛行などを説明。町内の寿し店でウニなど新鮮な地元産海産物の味覚を堪能し広尾町へ向かった。夜は、広尾町のホテルで大西町長も加わり、村瀬優広尾町長、ツアー参加者と懇談し、両町連携での広域観光圏活動などをPRした。
- ・道内の初日の出の観光スポットとして人気の襟裳岬は3年ぶりに日の出が拝め、「平成最後」の初日の出に約1,000人が参拝した。この日は、主に札幌、帯広ナンバーの車が駐車場を埋め、札幌からの観光バス1台を含めマイカー337台で3カ所の駐車場が満車となった。展望台から水平線を見つめていた参拝観光客からは、日の出の瞬間にざわめきや歓声、手を合わせ参拝したり、盛んにシャッターを切る音が静寂を破った。
- ・今年で110年目の節目を迎えた馬産地・浦河の新春恒例行事「騎馬参拝」が2日、西舎神社で行われた。歴史ある行事をひと目見ようと、約200人の参拝客や関係者が初詣を兼ねて訪れた。明治40年に西舎に国の日高種馬牧場が開設されて以来続く伝統行事。主神は牛馬守護の神、福島県相馬郡中村の相馬中村神社の祭神・天御中主神、全国の産馬改良に尽力した藤波言忠大人命、元浦河支庁長の西忠義大人命が祭られている。騎馬参拝にはJRA日高育成牧場、浦河乗馬クラブ、浦河ポニー乗馬スポーツ少年団、浦河高校馬術部らがサラブレッドやポニー計25頭と一緒に参加した。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、1件(前年同月1件)、負債総額は1億9千万円(同4千万円)。当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、3件(前年同月3件)、負債総額は5億円(同1億5千万円)。

〔道内の倒産〕

- 北海道の倒産件数は16件(前年同月19件)、負債総額は12億3千万円(同49億円)、倒産件数は前月比2件減少、前年比3件の減少となった。(東京商工リサーチ)

〔全国の倒産〕

- 全国の倒産件数は666件(前年同月635件)、負債総額は1,683億7千万円(同1,045億6千万円)。倒産件数は前月比44件増加、前年比で31件増加した。

〔雇 用〕

- 1月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.91倍で前年比0.21ポイント上昇、前月比で0.09ポイント下降した。有効求人数は1,241人で前年比52人増加、前月比で26人の増加となった。有効求職者数は649人で前年比49人減少、前月比で43人増加した。全道の月間有効求人率は1.20倍で前年比0.04ポイント上昇した。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

- | | | |
|-------------------------------------|----------------------|------|
| 1/5 第68回 中山金杯
ウインブライト 号 | (新冠町 コスモビューファーム 殿生産) | (GⅢ) |
| 1/5 第57回 京都金杯
パクスアメリカーナ 号 | (新ひだか町 千代田牧場 殿生産) | (GⅢ) |
| 1/20 第36回 東海ステークス
インティ 号 | (浦河町 山下 恭茂 殿生産) | (GⅡ) |
| 1/27 第24回 シルクロードステークス
ダノンスマッシュ 号 | (新ひだか町 ケイアイファーム 殿生産) | (GⅢ) |

日高管内主要農畜産物の農協取扱状況 139億3,500万円

日高振興局がまとめた日高管内主要農畜産物の農協取扱の年間出荷・販売見込額は、前年比1.7%減の139億3,500万円(軽種馬、水稻を除く)。大雪でのハウス倒壊や長雨、日照不足の影響で、ハウス栽培の作物に影響があり、多くで減産となった反面、施設栽培作物は高値傾向が続いた。

作物	出荷量	前年比	販売額(※は見込額)	前年比
太陽の瞳(ミニトマト)	1,257 トン	90%	9億1,500万円	92.9%
みついし花だより(花卉)	680 万本	89%	7億8,000万円*	98.7%
新冠ピーマン	1,733 トン	86%	8億6,800万円	過去最高
びらとりトマト	11,200 トン	89%	42億 200万円	96.3%
夏イチゴ(すずあかね)	221 トン	93%	4億4,500万円*	過去最高
牛乳	4,501 トン		41億3,000万円	
びらとり和牛	1,508 頭	95%	12億3,000万円	91.9%
みついし和牛	1,390 頭	96%	13億6,500万円	96.7%

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《指 標》

1 営業区域の人口・世帯数動向 (平成31年1月現在) (単位：人)

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平 取 町	5,057	-177	22	2,552	-29	35
日 高 町	11,896	-299	-18	6,192	-63	-7
新 冠 町	5,540	-46	-11	2,752	18	-9
新ひだか町	22,641	-350	-31	11,734	-1	-28
浦 河 町	12,435	-168	-10	6,751	-9	-4
様 似 町	4,308	-108	-12	2,190	-33	-8
え り も 町	4,714	-125	-13	2,133	-15	-3
日高地区合計	66,591	-1,213	-73	34,304	-132	-24
広 尾 町	6,880	-128	-8	3,375	-38	-2
大 樹 町	5,615	-24	-11	2,720	23	-6
日高・十勝地区合計	79,086	-1,365	-92	40,399	-147	-32
札 幌 市	1,965,956	2,969	-779	953,817	9,869	-329
江 別 市	118,961	-60	-24	57,241	633	22
石 狩 市	58,329	-178	-16	27,589	181	9
北 広 島 市	58,577	-213	-53	27,536	233	-1
恵 庭 市	69,861	297	11	33,325	486	8
千 歳 市	97,030	240	9	49,197	599	18
石狩地区合計	2,368,714	3,055	-852	1,148,705	12,001	-273
苫 小 牧 市	171,783	-453	-28	88,541	854	-4
厚 真 町	4,583	-84	-13	2,144	-17	-5
む か わ 町	8,096	-272	-30	4,173	-104	-10
胆振地区合計	184,462	-809	-71	94,858	733	-19
営業区域合計	2,632,262	881	-1,015	1,283,962	12,587	-324

注：日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

(資料出所：各市町村)

2 労働需給状況(平成31年1月)

(単位：人、%)

	浦河職安	全 道	前年同月比		前月比	
月間有効求人数	1,241	88,048	52	1,390	26	173
月間有効求職者数	649	73,162	-49	-1,632	43	1,249
月間有効求人倍率	1.91	1.20	0.21	0.04	-0.09	-0.02

(資料出所：浦河公共職業安定所)

3 建築確認申請(平成31年1月)

(単位：件)

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	4	2	1
(新ひだか町～広尾町)	30/4～31/1 累計	93	-3	

(資料出所：各市町村)

4 企業倒産状況(平成31年1月)

(単位: 件、千万円)

	件数	金額	前同月比(件数)	前同月比(金額)	業種	地区
苫小牧管内	3	50	0	35		
うち新冠町～えりも町	1	19	0	15		
北海道	16	123	-3	-367		
全 国	666	16,837	31	6,381		

(資料出所: 東京商工リサーチ)

5 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(平成31年1月)

(単位: 百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
138,734	3.84	-1.48	53,590	4.90	-1.16

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

6 浦河町・新ひだか町 手形交換高

(単位: 枚、百万円、%)

	31年1月	前年同月比	前 月 比
交換枚数	242	-24.14	38.29
交換金額	435	7.41	12.11
不渡り手形枚数	0	—	—
不渡り手形金額	0	—	—

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

7 気象情報(札幌管区気象台発表)

平成31年1月中の気象状況

(単位: °C、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1981～2010年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したものの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	-2.6	26.5	143.5	-0.1	71.8	102.9	
広 尾	-4.0	30.5	198.3	0.5	39.8	123.9	

(資料出所: 国土交通省・気象庁)

8 各町の水道使用量(平成31年1月)

(単位: t、%)

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合 計	前年比
新ひだか町静内	100,419	0.5	41,539	-2.1	141,958	-0.3
新ひだか町三石	18,412	0.9	9,836	2.2	28,248	1.3
浦 河 町	63,501	-0.6	26,676	-2.1	90,177	-1.0
様 似 町	22,040	-2.6	10,633	-8.2	32,673	-4.5
え り も 町	24,945	-3.8	9,791	-4.7	34,736	-4.1
広 尾 町	31,241	-3.9	14,351	-3.6	45,592	-3.8

* 広尾町は30年11月分

(資料出所: 各町)

日高振興局では、地域の特色や優位性を皆様に広くアピールさせていただくために、農業、林業、水産業、商工業など幅広い分野で、日高のすばらしさを紹介しています。

今回は、管内における食関連産業振興の取組について、紹介いたします。

平成30年度日高食関連産業振興事業「ひだか食研修会」開催

日高振興局では、2月19日に日高が有する多様な食資源を活かした商品開発・磨き上げを促進するための「ひだか食研修会」を、新ひだか町の日高エクリプスホテルで開催しました。研修会には、管内の食関連業者を中心に、約70名が参加しました。

■研修会概要

研修会の講師として、日本全国、海外での物産展などの企画プロデュースを手掛けている、元東武百貨店カリスマバイヤーの内田勝規氏を招き、地域ワークショップと講演会を次のとおり実施しました。

(1) 地域ワークショップ

「地域フード塾修了生からの取組発表」として、第5期修了生「お料理あまや（新ひだか町）」料理長 谷 昇三氏と、第6期修了生「菅農園（浦河町）」代表 菅 正輝氏から、地域フード塾で学んだ経営分析手法を活用し、新商品開発等に意欲的に取り組んでいることなどの発表がありました。

地域フード塾は、北海道が「食」をめぐる情勢の変化に対応できる「志」をもった地域のキーパーソンとなる人材を育成するために、平成25年度から実施しています。これまでの修了生は約150名、日高管内の修了生は8名となっています。

また、「管内特産品・試作品試食会」では、参加者が持ち寄った17品目の産品を試食し、管内事業者同士で、ものづくりに対する思いなどの意見交換を行ったあと、内田氏から講評をいただきました。



写真/試食会の様子

(2) 講演会

「売れる仕掛けはこう作れ！」をテーマに、内田氏から「日高はどのような地域を目指すのか？皆さんはどのようになっていきたいのか？」と問いかけ、「何かを見て、自分にどう取り込めるか」「情報は取りに行くもの」と情報収集の大切さや、「良い商品・良い宣伝・良い販売の、どれ一つが欠けてもうまくいかない。また、ターゲットや販路を絞り込んで、日高にある良いものを磨き、それが付加価値となる」ことなどの講演をいただきました。

参加者からは「自分の価値観で宣伝や販売をしていたことに気づかされました。今後は良いものを自分の足で行って、目で見て学ぶことを心掛けたい」などの感想がありました。



写真/講演会の様子

【問い合わせ先】

北海道日高振興局産業振興部商工労働観光課主査（商工振興） 電話0146-22-9282



ひだか Spring Premium 第1弾



日高の「春ウニ」大即売会 & 日高特産市

えりも産の
殻付きウニが…
4～5個で
1,000円
(消費税込)

2019

4/10水・11木

時間 11:00～15:00 (雨天決行)
場所 北海道赤れんが庁舎前庭

イベント内容

- ・えりも産殻付き「春ウニ」大即売会
- ・日高～春の特産市～
- ・塩水ウニ試食コーナー
- ・殻付きウニ割実演コーナー
- ・日高の観光PR

数量限定！！

殻付き「春ウニ」購入者様限定で…
『第9回えりもうに祭り』
殻付きウニ購入優先券(※)が当たる！

※「第9回えりもうに祭り」当日において、
行列に並ばず殻付きウニを購入できる優先券になります。(別途購入代金が必要です)



※画像は「殻付きウニつかみどり」の様子です。



『ひだか Spring Premium』とは

「4月10日～5月31日」の期間で、
日高が誇る地域資源である「春ウニ」・「サクラ」
などを活用して多くの方に「日高の春」の魅力を知ってもらい、来てもらい、満喫してもらう事業の総称です。

主催：北海道日高振興局

共催：えりも漁業協同組合

問い合わせ先：北海道日高振興局産業振興部水産課

電話：0146-22-9321 住所：北海道浦河郡浦河町栄丘東通56



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034 浦河郡浦河町堺町西1丁目83の59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016 日高郡新ひだか町静内本町1丁目1の15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町197の23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014 様似郡様似町大通2丁目35の2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204 幌泉郡えりも町字本町170の1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615 広尾郡広尾町本通8丁目7の1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1-4 三井生命札幌共同ビル4階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8:45~18:00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」のATMが設置されております。

土曜日 ATM 稼働店：本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9:00~17:00

日曜・祝日 ATM 稼働店：本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9:00~17:00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~16:00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>